

新型コロナウイルス対策の具体的な留意点について（お願い）

小樽後志陸上競技協会

新型コロナウイルス感染が、完全なる終息がまだ見通せない状況が続いております。その中で大会を開催するにあたって、感染拡大防止、選手・役員・観客等の安全安心のため、競技場内及び競技中の具体的な対応を皆様にはご負担をおかけしますが、それぞれ責任を持ち対応してください。尚スポーツ庁ガイドラインにより、以下を守っていただけない場合、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ますので、理解とご協力をお願いします。

具体的な留意点

【選手・役員・観客等共通】

- ① ア 体調がよくない場合(例:発熱 37 度以上・咳・咽頭痛などの症状がある場合)。
イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
ウ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の監察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触者がある場合。上記に該当する場合は、参加・入場できない
- ② 受付や競技者係等にて疑わしい人に検温(非接触型体温計)を実施する。
- ③ マスクは選手・役員・引率者の全員が必ず着用すること。
- ④ トイレに石鹸・消毒液(ポンプ型)を用意しているので使用ください。
- ⑤ 飲み物、タオル等の他人との共用は避けること。(ハンカチ・タオル等各自持参)
- ⑥ 暑い中マスクをすることで熱中症に注意して、こまめな水分の補給を行うこと。
- ⑦ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について連絡すること。

【選手】

- ① 大会参加は自己責任及び任意参加とする。児童・生徒は保護者の同意を得ることを条件とする。
- ② 選手は大会に参加できる練習を積んでいること。
- ③ 選手はマスクをつけて選手招集所で一次点呼を行うこと。筆記用具はできるだけ自分のものを使用するようにしてください。協会の筆記用具を利用後は手洗いをして下さい。
- ④ 密集を避けるため集合形式の最終点呼は実施しない。招集終了時間にトラック競技は100mスタート後方で出発係の指示に従うこと。フィールド競技は、ホームスタンド100mスタート側ベンチに距離を取り、座り待機しフィールド審判の指示に従い移動する。
マスクはトラック選手ではスタート準備まで、フィールド選手は試技開始前(待機中含む)まで着用すること。(マスクを入れるビニール袋は各自用意してください)
- ⑤ 大会前日と当日の腋下体温を引率責任者に報告すること。(引率責任者は所定の用紙に体温を記入し受付時提出する)
- ⑥ テントを張る場合は、テント内の風通しをよくし、密にならないよう工夫すること。スタンドを選手に開放するので、活用して下さい。
- ⑦ 競技場内では「つば」や「たん」を吐かないこと。また、走行中は極力行わないこと。
- ⑧ 密閉・密集・マイクロ飛沫リスク防止のため、近距離での会話や大声での発声を避ける。感染を防止するため、特に集団での声を出しての応援、握手・ハイタッチ等は禁止する。
- ⑨ 競技場では、審判員の指示に従う。感染防止から、スタート地点や試技場では、間隔を置き待機する。
- ⑩ 器具を触った手で顔(特に口や鼻や目)に触れず、フィールド競技はアルコール消毒液を用意するので使用して下さい。競技終了後入念な手洗いをする。
- ⑪ 食事前には手洗いをする。話しながら食べない。おかずなどをあげたりもらったりしない。マイカップ、マイ箸の利用、コップの使いまわしはしない。

- ⑫ 競技終了後、審判員の指示に従い速やかに退場すること。
- ⑬ 大会の記録証、賞状は本部 2 階で団体ごと受け取ること。
- ⑭ 予選通過者・決勝進出者以外の掲示は原則行わない。記録等はホームページに後日掲載するのでご覧ください。
- ⑮ 出来るだけ自分の競技時間に合わせて来て、自分の競技が終了したら速やかに帰宅ください。密集状態でのミーティングは行わないようにして下さい。
(タイムテーブルプログラム原稿はホームページに掲載する)

【競技役員】

- ① 状況により急に競技大会の中止・延期措置をとる場合があるので HP で確認ください。小樽後志陸上競技協会 LINE グループでも連絡します。
- ② 発熱・咳など軽い風邪症状、大会当日腋下体温37度を超える場合、ご遠慮ください。欠席の場合は申し込み責任者から大会総務へ連絡してください。**その場合参加料は返金します。**
- ③ 競技場入り口ロビーに消毒液を用意しているので使用ください。
- ④ 競技場では、マスク着用、手洗い、消毒(特に、トイレ取っ手に触れた場合)を励行する。(消毒用スプレーを設置します)
- ⑤ 各部署で使用する用器具の消毒をお願いします。
- ⑥ 競技場所では、密集や近距離での会話や大声での発声を避ける。(選手も同様)競技役員用にフェイスシールドを用意しています。
- ⑦ 選手に指示をするときは、ハンドマイク(交代時の消毒)を使用する。
- ⑧ 競技者係は選手にマスクの着用と、消毒液を設置するので消毒の徹底をはかる。
- ⑨ 出発係は、マスクをスタート準備への移動前まで着用させること。
- ⑩ フィールド審判員は、マスクを試技開始(待機中含む)まで着用させる。
- ⑪ 選手待機場所は、出来るだけスペースを広くとり、各組内及び各組毎の間隔をとり、選手確認をする。(招集椅子は設置せず100m後方にテープでマークをして招集を行う)
- ⑫ その他は、大会当日のプログラム選手注意事項や審判打ち合わせ時の内容を踏まえる。また、大会総務・審判長・主任と協議しながら臨機応変に対応しながら大会運営をする。

【観客・顧問・引率者・指導者】

- ① 保護者は、児童・生徒の体温を確認し、参加承諾書に記入し引率者に報告すること。引率者は報告を受けたら所定の用紙に記入し受付時提出のこと。
- ② 顧問・引率者は事前に、「新型コロナウイルス対策の具体的な留意点について」を選手に指導すること。引率者・指導者は保護者等にも内容を伝えること。
- ③ スタンドは選手に開放していることから、大変に申し訳ありませんが、無観客で実施します。小学生については、保護者 1 名の引率でお願いします。
- ④ 新型コロナウイルスの状況により、急に大会が中止・延期・縮小等になる場合があるので、ホームページで確認をすること。また、この他に、急を要する事が生じた場合は、同じくホームページに掲載しますので確認をお願いいたします。
- ⑤ 引率者・指導者等の皆様方にはご負担をおかけいたしますが、保護者等の皆様に関係する部分をお伝えしていただくよう重ねてお願い申し上げます。